



緑小だより

板橋区立緑小学校
9月号 (No.572)
令和7年9月1日

自分のまちから学ぶことを通して

副校長 樋口 悦子

ビオトープにはミソハギがきれいに咲き、トンボもたくさん飛んでいます。学校閉庁期間中、学校支援地域本部コーディネーターの方にビオトープや花壇、稲等の水やりをしていただいたお陰で、暑さに負けず元気に生長することができました。ありがとうございます。

長い夏休みを終え、子どもたちが元気に登校しました。落ち着いた雰囲気の中で2学期をスタートすることができました。保護者、地域の皆様の見守りのお陰で大きな事故やけがなく、充実した日々を過ごせたことに心より感謝いたします。また8月29日から31日までの夏休み最後の3日間、寺子屋主催によるラジオ体操が緑小の校庭で行われました。延べ200人の参加があり、子どもも大人もみんなで朝から気持ちよく体を動かすことができました。地域の方からも「子どもたちが元気に成長する姿が見られてうれしい。」「緑小をいつも応援しています。」と心温まる、心強いお言葉をいただきました。保護者、地域に愛され、支えられている緑小は本当に幸せだと心から感じ、感謝の気持ちでいっぱいです。これからも学校と保護者、地域の皆様と連携・協働して、子どもたちの健やかな成長につなげてまいります。

さて、本校の今年度の最重点教育活動は、協働・対話による「課題発見・解決学習」を進め、持続可能な社会の担い手を育成することです。4年生は自分がおすすめる地域の木を「推しの木」として学習をすすめました。一人ひとりが選んだ「推しの木」をうちわに貼って特徴や願い等を発表しました。志村小、北前野小、志村坂下小の4年生10クラスがオンラインでつながり、クラスで推したい木を代表として発表し、交流しました。活動を通して、緑に触れさせ自然を守っていくことだけでなく、10年後のまちや社会のために何ができるのかを考えられる人になってほしいと願っています。また、3年生は「まちをみるめ」を学習しています。様々な人の立場になって見る「みるめシート」を使って校内を探索しました。「みるめシート」には、「小さな子どもを連れている人」「お年寄り」「日本語が分からない人」等、様々な立場の人が書いてあります。そのシートを通して、その立場の人になって校内を調べてみると、普段の生活では感じなかったことに気付くことができました。夏休みはまちについて調べてきました。子どもたちが学んだことを今後、どのようにつなげ、広げ、深めていくのか楽しみです。

9月の行事予定

日	曜	朝会・集会	行事等	下校予定時刻					
				1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	月		始業式 4時間授業(特別時程) 避難訓練	12:05	12:05	12:05	12:05	12:05	12:05
2	火	学習	たてわり自由研究発表会3h 4時間授業	12:25	12:25	12:25	12:25	12:25	12:25
3	水	読書	給食始 発育測定(1,2)	13:10	14:10	14:10	14:10	14:10	14:10
4	木	学習	5時間授業(3,4,5,6) 発育測定(3,4) SC 学校公開(学級活動の日)5h・保護者会14:30～ (4,5,6) 倉渕移動教室説明会(5) 清掃車出前授業(4)	14:10	14:10	14:10	14:10	14:10	14:10
5	金	学習	学校公開(学級活動の日)5h・保護者会14:30～(1,2,3) 発育測定(5,6)	14:10	14:10	14:10	15:00	15:00	15:00
6	土								
7	日								
8	月	読書	委員会(9月) あいさつ当番始(4) 安全指導・安全点検 STEP UP教室2学期指導始	13:10	14:10	14:10	14:10	15:10	15:10
9	火	読み聞かせ		14:10	14:10	15:00	15:00	15:00	15:00
10	水	読書		13:10	14:10	14:10	14:10	14:10	14:10
11	木	児童集会	セーフティ教室 SC 防犯教室2h…1, 2, 3年 3h…4, 5, 6年	14:10	14:10	15:00	15:00	15:00	15:00
12	金	学習	科学館移動教室(4)	14:10	14:10	14:10	15:00	15:00	15:00
13	土								
14	日								
15	月		敬老の日						
16	火	学習	なわの日(1,3,5)	14:10	14:10	15:00	15:00	15:00	15:00
17	水	読書	なわの日(2,4,6) 倉渕事前健診(5)13:30～ 世界陸上体験および陸上競技教室(6)2～5h 国立競技場	13:10	14:10	14:10	14:10	14:10	14:10
18	木	学習	倉渕移動教室(5)一日目	14:10	14:10	15:00	15:00	倉渕	15:00
19	金	学習	倉渕移動教室(5)二日目 SC あいさつ当番終(4) 下水道出前授業(4)1～4h 韓国小学校との交流(6)	14:10	14:10	14:10	15:00	倉渕	15:00
20	土								
21	日								
22	月	全校朝会	あいさつ当番始(1) クラブ④(卒業写真撮影) 卒業アルバム写真撮影(個人・クラス・学年)	13:10	14:10	14:10	15:25	15:25	15:25
23	火		秋分の日						
24	水	学習	4時間授業(3-2のみ5時間授業) (3年2組14時15分下校)	13:10	13:10	13:10	13:10	13:10	13:10
25	木	読書	たてわり班遊び SC	14:10	14:10	15:00	15:00	15:00	15:00
26	金	学習	社会科見学(6) 放課後PU教室	14:10	14:10	14:10	15:00	15:00	15:00
27	土								
28	日								
29	月	読書		13:10	14:10	14:10	14:10	14:10	14:10
30	火	学習	東京韓国教育院出前授業(6)56h	14:10	14:10	15:00	15:00	15:00	15:00

まずはみんなで安全確認！

みんなで守ろう交通ルール

令和7年9月21日（日）から9月30日（火）まで、秋の全国交通安全運動が始まります。また、9月30日（火）は「死亡事故死ゼロを目指す日」です。

今回の運動の実施に当たっては、交通事故により、多くの人々が犠牲になり、あるいは心身に損傷を負っている厳しい交通事故情勢が正しく理解・認識されて、児童一人ひとりに運動重点及び推進項目の趣旨が定着し、交通ルールを守り、相手に対する「思いやり・ゆずり合い」の気持ちを持って交通マナーを実践するなど交通事故防止に寄与するよう、効果的に運動を展開するものと内閣府の要項に示されております。

さらに、交通安全に対する児童の更なる意識の向上を図り、一人一人が交通事故に注意した交通行動をとることにより、交通事故を抑止することを目的とした「交通事故死ゼロを目指す日」を実施しています。

今回の運動重点は、①反射材用品等の着用推進や安全な横断方法の実践等による歩行者の交通事故防止②夕暮れ時以降の早めのライト点灯やハイビームの活用促進と飲酒運転等の根絶③自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底です。

さて運動重点の③にあたる自転車は、児童にも身近な乗り物です。しかし、道路交通法では「車両」に分類され、公道で乗るときは、おもに次のような交通規則（法律）を守ることが求められます。

- 自転車は、車道の左側を通行する。
- 歩道を走行するときは、歩行者が優先。
- 「止まれ」の標識や信号など、道路標識や道路標示に従う。
- 夕刻になったら、早めにライトを点灯する。
- ヘルメットを着用する。（努力義務）
- 交通規則を理解した上で安全に利用する。

児童には、繰り返し交通規則や自転車の安全な乗り方などを伝えていきますが、私たち大人が交通ルールやマナーを示し、子どもたちが安心して道路を歩いたり、自転車を利用したりできる環境をつくることも大切です。

学校でも、指導を重ねてまいります。ご家庭でもぜひ、今回の学校だよりを基にお子様にお話しいただくと幸いです。

生活指導主任

本校は、「持続可能な社会の創り手となる児童をめざして～課題を発見し、解決をめざす学び～」をテーマに研究を進めています。

先日行われた 5 年生の研究授業では、社会科と総合的な学習の時間の2教科を関連付け、合科的単元として「お米のひみつ探検隊」の学習を行いました。社会科で学んだことを生かし、新たな視点で「お米」を捉え、考えを深めていこうというものです。子どもたちの話し合いからは、社会科の学習内容に加え、自分の生活の中で経験したこと、ニュースなどで見聞きしたことなども反映されていることが伺われました。以後の学習では、教科書で得た知識を用いて、新たな学びへと広げていく中で、自分たちならではの調べる視点や調べ方を模索し、活動へと発展させていきました。

このように、子どもたちは自分だったらどうしたらよいか、という「自分事」という考え方を軸に学習を展開していきます。探求的学習が求められている今、本校では、自分たちで課題に気づき、解決方法を考え、行動・発信していくという学習を全学年で大切にしています。

2月の学習発表会では、この1年間の学習してきたことを発表する予定です。子どもたちの学習過程を垣間見ていただけるのではないかと思います。

研究主任、

